



==PDFを e.Typist で作ろう==



PDF作成のおおまかな流れ

Windows XP環境での説明です。他のOSでは、ログボックスの仕様が少し違います。

はじめに。

「e.Typist」は、OCRソフト(光学式文字読取装置)です。基本的に、スキャナを必要とします。

Wordなどの、ワープロソフトで作成された書類ではなく、画像ファイルの中の印字された文字をスキャナで読み取り、前もって記憶されたパターンとの照合により文字を特定し、画像データから文字データに変換する事ができるソフトです。

はじめは、スキャナに**バンドル**されてきた、LE版だったのですが、アップグレードが比較的に低価格の為、

今では、Ver.9.0 のインターナショナル版を使っています。

読み取れる書類の幅も増え、読み取れる言語の幅も増え、大変充実したソフトです。

読み取った文字だけではなく、色彩のある絵も一緒に保存できるようになりました。

そして、その**エクスポート**に、PDFが選べるのです。

つまり、ただの画像ファイルから、フォントを埋め込んだPDFが作れるようになります。

惜しいのは、1ページしか作れない事。

でも、Wordより、サイズが小さく、レイアウトが保持された美しいファイルを

WEBで配布する事ができます。

これから、「e.Typist」を使った、作成方法を、紹介します。

素材を選ぶ

まず、素材を選びます。

「e.Typist」でPDFを作るには、何でも、というわけにはいきません。

前頁で「ややこしい」と表現したのは、素材に限られるからです。

絵が背景になっていて、その上に文字が載っているような素材では、
スキャナで読み取っても、文字認識がうまくできません。



色は匂えど散りぬるを、我が世誰ぞつね

日時:平成某年1月1日
会場:いろはにホール

ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてくださいここには本文
を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてく
ださいここには、本文を入れてくださいここには本文を入れてください。ここ
には本文を入れてください、ここには本文を入れてください。ここには本文
を入れてください。

あなたの会社名
www.adobe.co.jp



こういう素材の読み取りは、まったくできません。

これなら比較的、問題ないです。

色は匂えど散りぬるを、我が世誰ぞつね



日時:平成某年1月1日

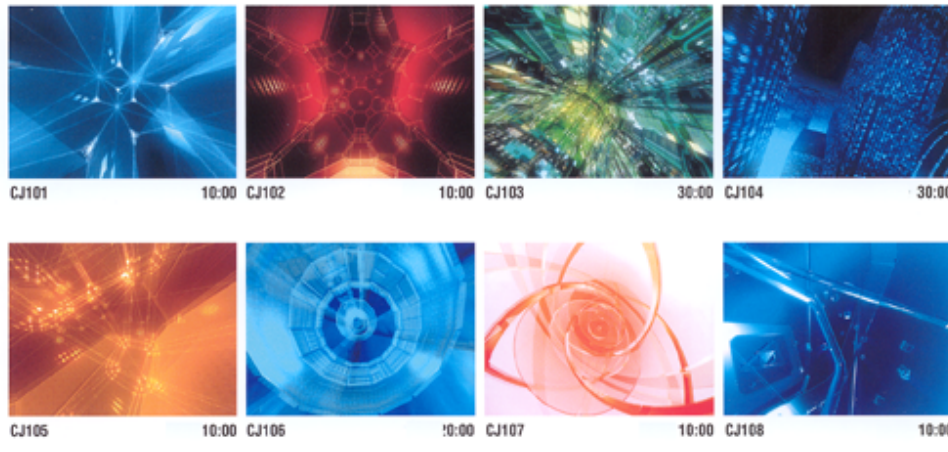
会場:いろはにホール

ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてくださいここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。ここには本文を入れてください。

あなたの会社名
www.adobe.co.jp



上の画像も、縦長の緑のバーと右下のアイコンは、書き出されませんでした。
こういう素材は、画像も文字も全て書き出され、美しいです。



「e.Typist」でPDFを作るメリットは、
フォントの埋め込みができる。もちろん、縦書きの文字もOKです。
又、画像も美しくレイアウトできる点です。

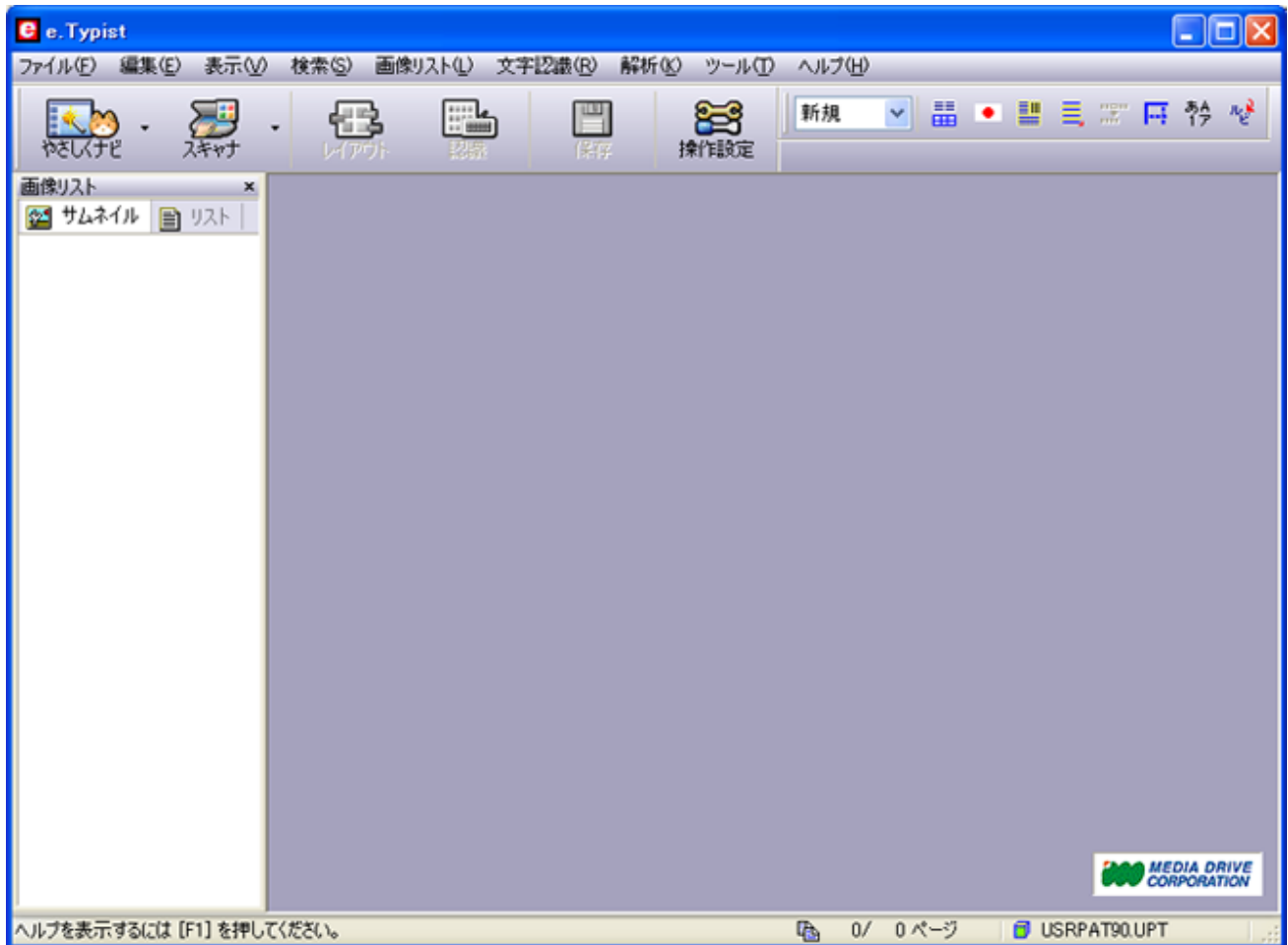
「e.Typist」でPDFを作る「ややこしい」条件を挙げてみましょう。


- 1.文字が黒色である。
- 2.背景が白色である。
- 3.文字と絵が重なっていない。
- 4.画像は大きいほうが良い。

以上をクリアした素材選びが必要です。

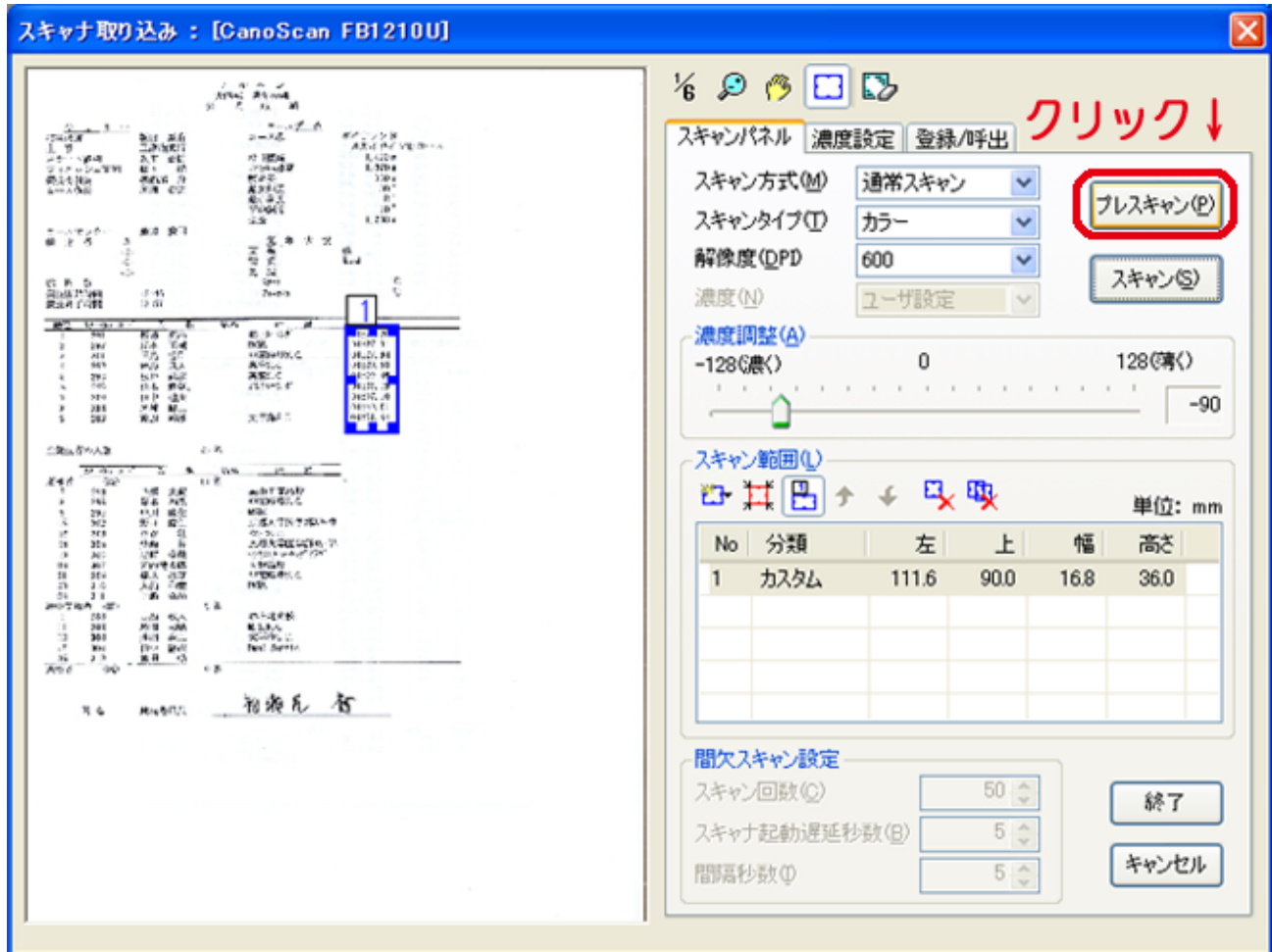
「e.Typist」で素材を読み込む。

「スタート」「すべてのプログラム」と開き、
「e.Typist」を起動します。



スキャナの電源を入れ、メニューバーアイコンの  をクリックしてください。

スキャナのダイアログボックスが開きます。



「プレスキャン」ボタンをクリックします。



スキャンの範囲を変更します。

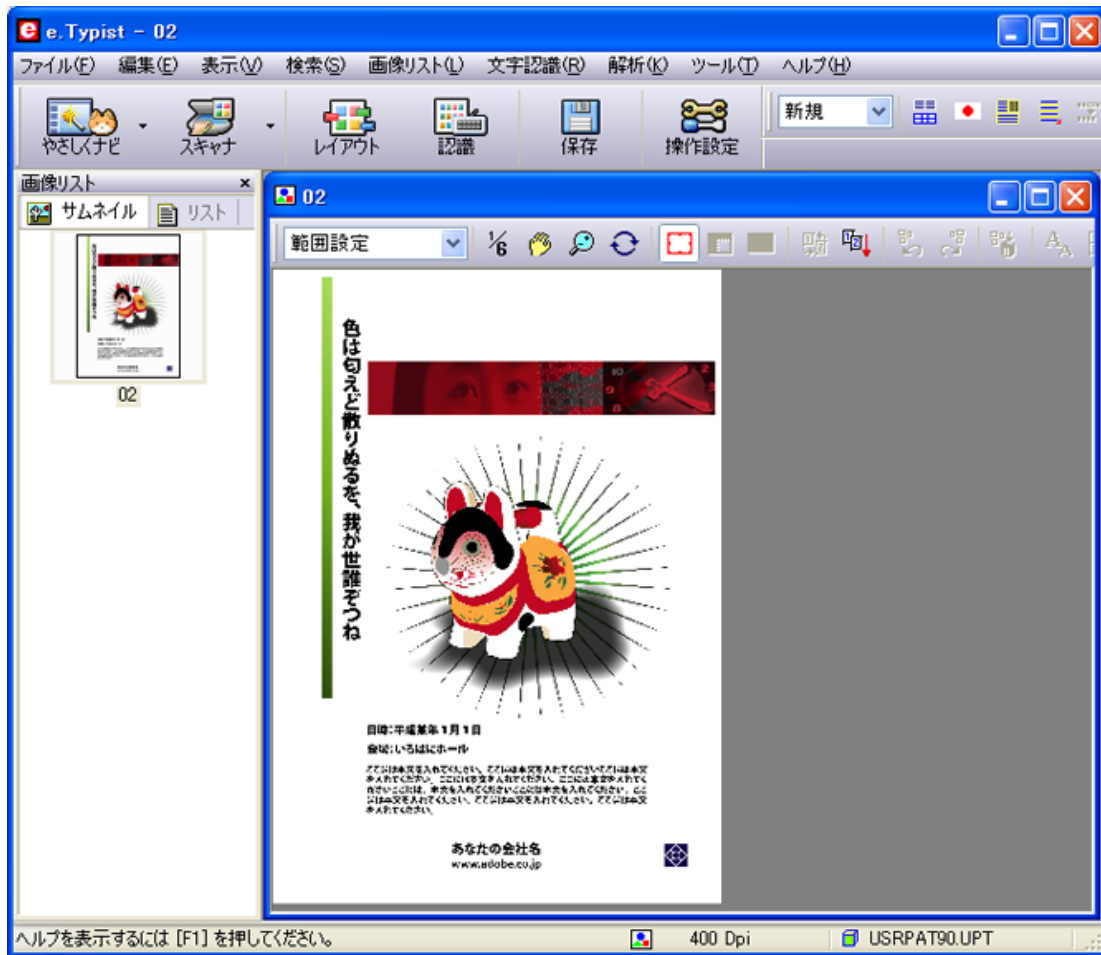


スキャン範囲が変わります。

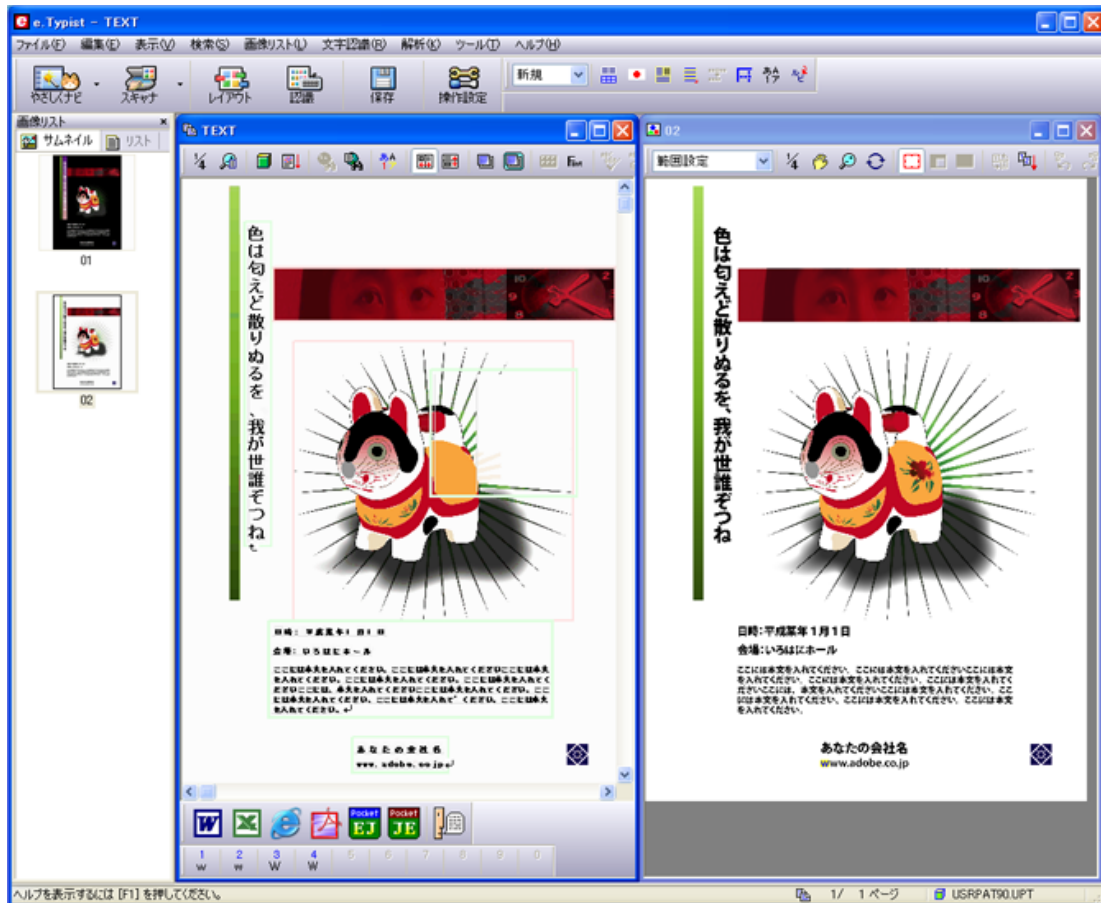
「スキャン」ボタンをクリックしてください。



スキャンが終わったら、**終了** をクリックして下さい。



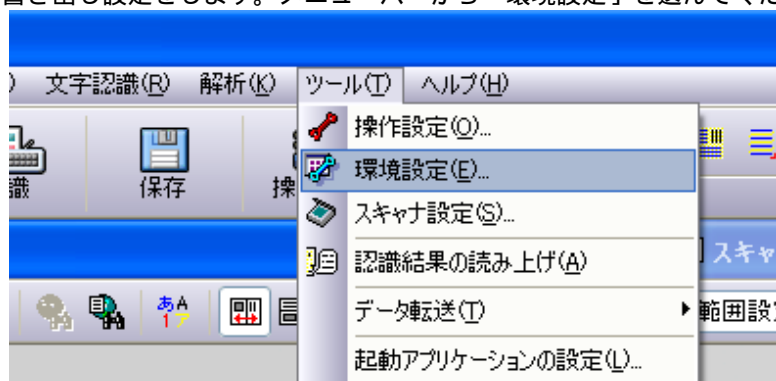
メニューバーアイコンの、 をクリックします。



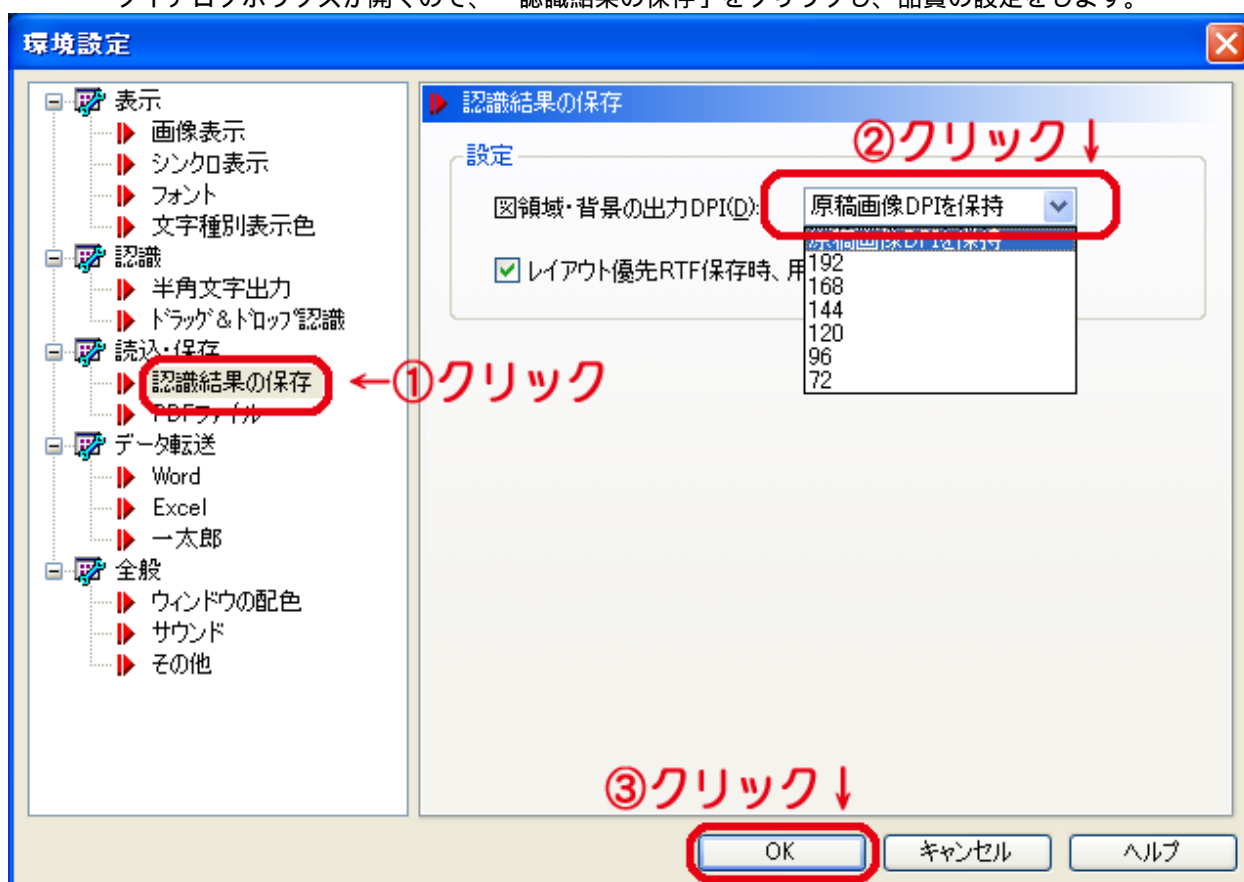
文字認識が正しくできたか、しっかりチェックし、間違っている箇所は、入力、訂正します。フォントの種類を変更する事もできます。

「e.Typist」でPDFファイルを作成する。

PDFの書き出し設定をします。メニューバーから「環境設定」を選んでください。



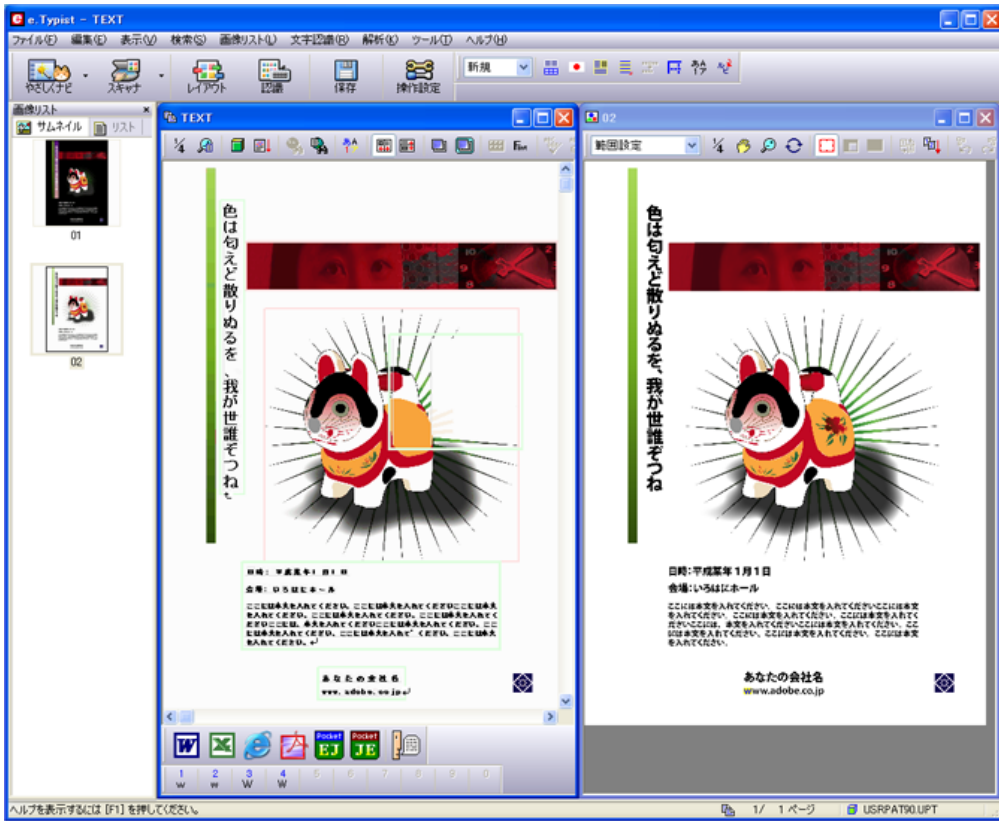
ダイアログボックスが開くので、「認識結果の保存」をクリックし、品質の設定をします。



Scenモード(見るだけ)なら、72DPIで充分です。

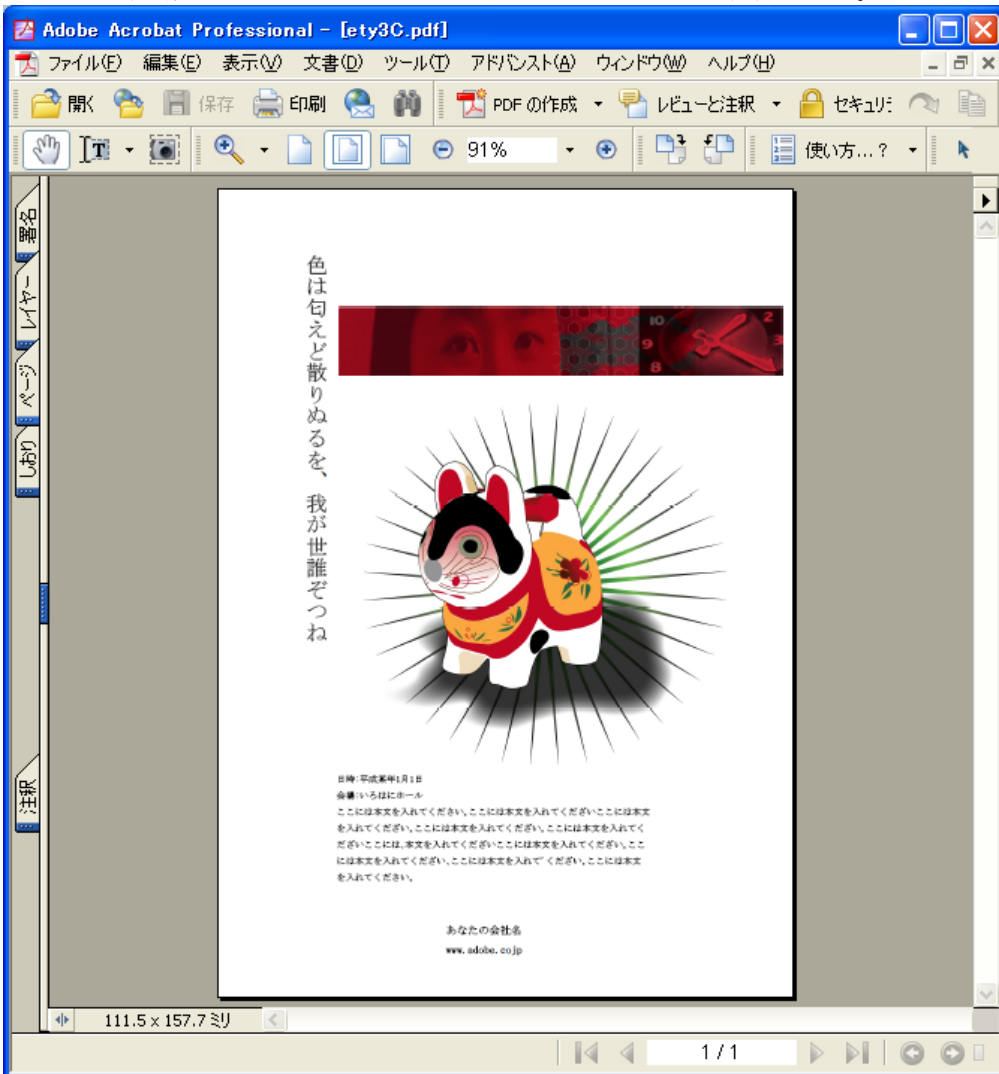
Printモード(印刷用)なら、原稿画像DPIを選びます。

「OK」ボタンをクリックして、「環境設定」を終了します。



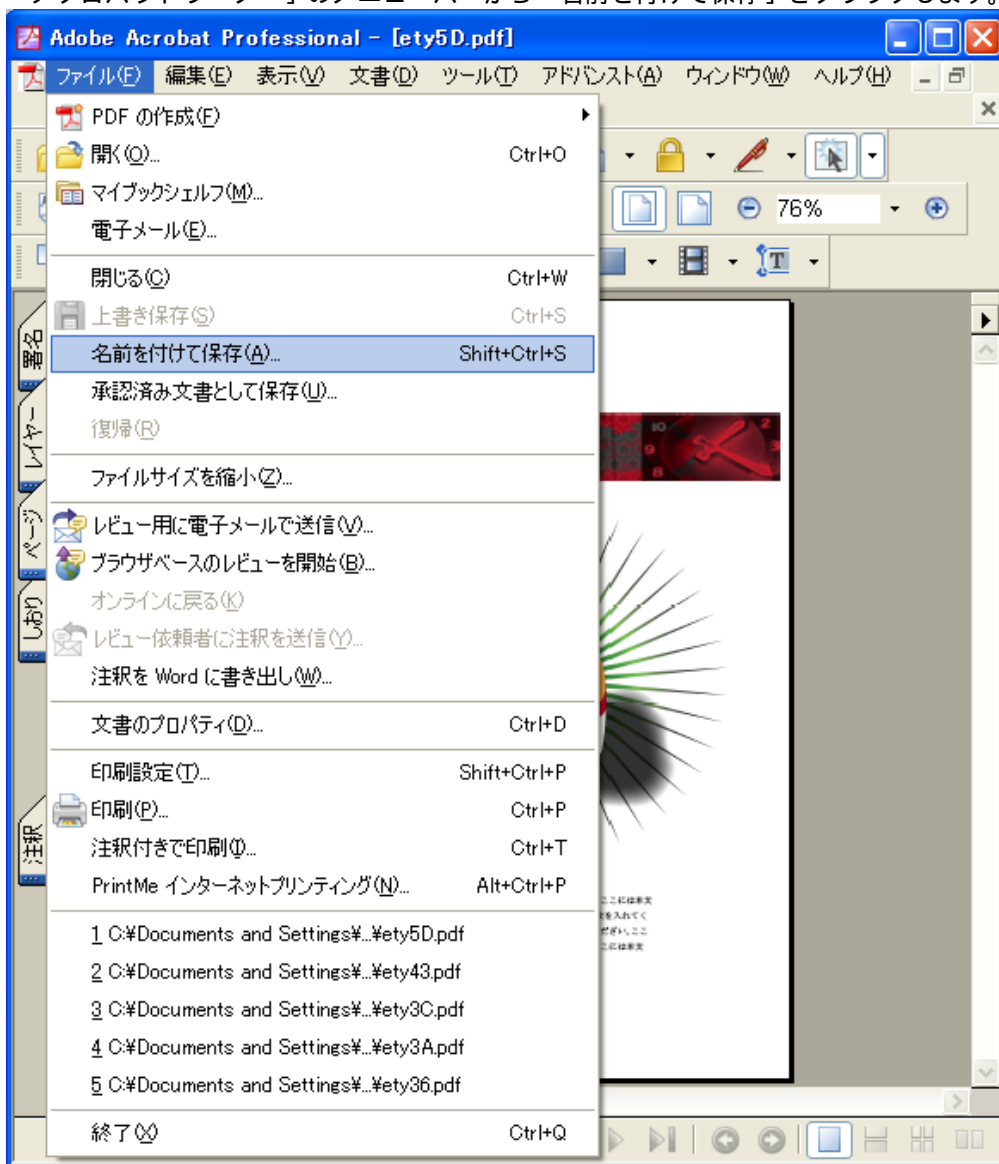
データ転送バーの、 アイコンをクリックします。

PDF変換が始まり、しばらくすると
完成したPDFファイルが「アクロバットリーダー」で起動します。



美しく仕上がったが、しっかり確認し、

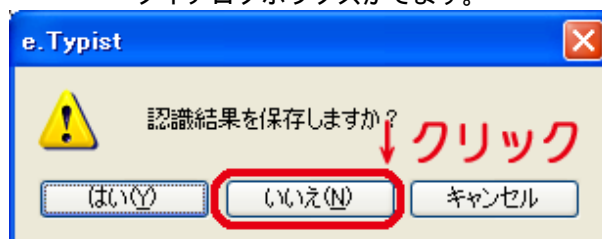
「アクロバットリーダー」のメニューバーから「名前を付けて保存」をクリックします。



保存場所を覚えておいてください。
「アクロバットリーダー」を終了します。

残った「e.Typist」の  をクリックしてください。

ダイアログボックスがでます。



「いいえ」をクリックして終了です。